

## 社会福祉協議会

社会福祉協議会は、地域福祉を推進する民間の団体です



No.131

# みなみあしがら



10月22日、9組19人の親子が参加した親子お菓子福祉教室 女性センター

第131号  
主な記事

社協広報誌

新年のあいさつ・岡本地区生活支援活動モデル事業報告…② 地域のサロン活動紹介…③ 市・県社会福祉大会…④ ⑤ 地域福祉会連絡会研修会…⑥ 社協ふれあい出前講座・お菓子福祉教室に参加して…⑦ 事業案内・寄付の窓口・社協職員募集…⑧

発行

社会福祉法人南足柄市社会福祉協議会・共同募金会南足柄市支会

〒250-0105 南足柄市関本403-2 南足柄市りんどう会館1階

TEL 0465-73-1575 FAX 0465-74-3276

ホームページ <http://www.minamisyakyo.or.jp> E-mail [soumu@minamisyakyo.or.jp](mailto:soumu@minamisyakyo.or.jp)

明けましておめでとうございます。  
新年を迎え、皆様の幸せを心より願っております。



南足柄市社会福祉協議会  
会長 森住敏逸

2017



明けましておめでとうございます。皆様にはお健やかで希望に満ちた新年をお迎えの事とお慶び申し上げます。また、今迄取り組んできた社協事業は、皆様方のご理解と地域のネットワークに支えられ活動を推進する事ができましたことに感謝申し上げます。

ご承知のとおり、今後誰もが経験したことのない超高齢社会を迎えます。また、認知症や子どもの貧困率増大などにより、日々の暮らしの中で、様々な困りごとや不安を抱えながら生活される方が増えてきています。

こうした中でこそ、日々の暮らしの中に「安心と潤いと楽しさ」が今まで以上に必要となってきたのではないのでしょうか。社協は、元気な高齢者が趣味や地域のサロン活動、社会貢献など活発に活動し元気に暮らせる事、日常生活の困りごとは気軽にお手伝いを頼め

る事、悩みなどは相談に乗って貰える事、そうした「誰もが安心して暮らし続けられる地域づくり」を推進して行くため、第4次地域福祉活動計画（H28年～H32年度）を策定しました。

この基本理念である「支えあひともに生き 元気に暮らせるまち南足柄」に基づき社協の各事業（地域福祉、ボランティアセンター、あんしんセンター、岡本地区包括支援センター、介護事業所）が皆様の期待に応えられるよう職員一同こころ新たにに取り組んでいく所存です。市民の皆様をはじめ、行政、各種関係団体の方々と連携、協働しながら具体的施策を推進してまいりたいと思います。

その一つとして今年4月に立ち上げ予定の「岡本地区生活支援活動」は、準備委員会のご努力と民生委員児童委員協議会・自治会・地域福祉会・老人クラブなど各種団体のご協力と市当局のご支援によりその形が見えてきました。まさに、お互い様の精神による住民相互の「新たな支えあひ活動」であり、こうした活動が継続発展できるように「できる時に できるこ

とを 無理なく楽しくふれあひながら」をモットーに取り組んで行きたいと思えます。本年も一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

## 岡本地区に支えあひの輪を広げよう

岡本地区生活支援活動モデル事業報告

（平成29年4月の活動スタートを目指して）

日常生活の中での困りごと「ゴミ出し、電球交換、草むしりなど」を住民同士で支え合う「生活支援活動」の立ち上げを岡本地区生活支援活動準備委員会で検討しています。

昨年10月には、岡本地区の4会場にて住民懇談会を開催し、活動のイメージの説明や、住民の皆さんの生活上の困りごとや活動に対してのご意見等を伺いました。参加者の方からは、活動への期待が寄せられる一方で、「担い手の確保が大きな課題になるのではないかと、活動のしくみの核になるコーディネーターの役割が重要ではないか、担い手が安心して活動できるように研修が必要」などのご意見や、「この活動をどのように機能させていくのか」など多くの質問があり、有意義な住民懇談会となりました。

また、10月から12月にかけて岡

ます。  
皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。



本地区14自治会にご協力をいただきアンケート調査を実施いたしました。調査は、生活上の困りごとや、協力できることなどにご回答いただく内容で、現在、集計中です。この結果を参考に活動メニューの検討や活動のしくみづくりに反映していきます。



## 地域のサロン活動紹介

## ほのぼの地域のふれあいづくり

## 和田河原ふれあいカフェ

和田河原地域福祉会 三橋和美会長

和田河原公民館で、毎月第3水曜日に「和田河原ふれあいカフェ」を開催しています。

ふれあいカフェは、急速な高齢化、独居・高齢者夫婦世帯の増加、認知症や老老介護など、多くの人が悩みや寂しさを抱え、不安を募らせている中で、何とかひとときの安らぎの場を提供できないかとの思いで、立ち上げの検討を進めてきました。活動資金として、バザーの収益、個人の方からの寄付金等を活用させていただくことで継続的な運営の目途がたったことから、昨年6月から活動をスタートさせました。現在では20名を超え、方々が参加してくれています。お茶飲みやおしゃべりでゆったりとくつろげる場づくりを心がけています。

その他に、社協や岡本地区地域の包括支援センター・介護事業者等の職員の協力により、生活上の悩みや不安なことを相談できる場に

もなっています。これからも安心して生活できる地域を目指して、ふれあいの輪を広げていきます。



ふれあいカフェで楽しくおしゃべり

## 千津島縁側サロン

千津島地域福祉会 草柳博会長

昨年8月から、毎月第1火曜日に「千津島縁側サロン」をスタートしました。立ち上げにあたり、他地域のサロン活動を見学しながら、千津島らしいサロンを検討してきました。第1回目の開催にあたっては、自治会回覧と口コミによる声かけで、約20名の参加がありました。昔懐かしいぬり絵や、おしゃべり、歌を織り交ぜながらあつという間に楽しいひと時は過ぎていきました。

12月で第5回目を迎えた縁側サロン。今後は、楽しみにしてくれている方が増えていることを励みに、気楽に参加してもらうための工夫や、地域ならではの農繁期等の忙しい時期に参加してもらうにはどうすれば良いかなど、試行錯誤しながらも、千津島らしいサロンを開催していきたいと思っています。



みんなでクリスマス飾りを作りました



11月26日文化会館小ホールに於いて、社会福祉大会が開催されました。会場入り口では陸前高田の板昆布販売やリサイクルの会・みんなみひなたのバザーに温かい人の輪ができていました。

第一部は「多様な福祉課題に直面する今、ふれあい支えあいの輪を広げていきたい」との森住会長の挨拶に続き、10名の方に表彰状、17名の方に感謝状が授与されました。さらに加藤市長はじめ来賓の方々からは「『支えあい ともに生き 元気に暮らせるまち 南足柄』のスローガンのとおり世代を超えた学びあいを通して、地域で自立した生活が送れるよう、今後ともご尽力をお願いしたい」との祝辞をいただきました。



## 28年度 市社会福祉大会開催



社会福祉大会に出席された受賞者のみなさん

### 受賞された方（敬称略）

#### 【表彰】

▼地域の福祉活動にご尽力された方々

関戸富美恵（関本）

嶋田國夫（向田）

山口正子（下怒田）

山崎君子（墟下）

桐生友幸（竹松）

遠藤岩男（和田河原）

日下部千鶴江（生駒）

山口和子（いずみ）

星野絹代（岩原）

田中美智子（沼田）

#### 【感謝】

▼福祉推進団体の委員として長年ご活躍された方々

金子元彦（雨坪）

小宮洋戒（塚原）

▼民間の福祉施設で長年にわたり勤務された方々

角田 恵（駒形新宿）

野地良子（駒形新宿）

飯田ひと美（怒田）

増田加寿美（小田原市）

内田一也（小田原市）

二見靖子（箱根町）

玉野智子（秦野市）

小泉淳子（開成町）

人見優香（秦野市）

杉本亜紀子（小田原市）

関野芳則（小田原市）

石塚由規（班目）

綾部珠代（塚原）

▼社会福祉協議会活動の進展に寄与された方々

進藤典美（塚原）

渡邊洋平（塚原）





第二部は、岩手県陸前高田市社会福祉協議会常務理事である菅野直人氏による「東日本大震災からの復興と社協活動」と題した講演でした。

コミュニティの一角に植えられた色とりどりのぎる菊、民家の玄関で、軒先で咲き誇るぎる菊の鮮やかな写真が紹介され、「ぎる菊を通して交流を深めた両市。南足柄から送られた苗は、今年も陸前高田で立派に咲いています」と菅野さんは感謝とともに話し始められました。この花がどんなにか人々の心を慰め癒したことでしょうか。

しかし、次に映し出された大津波、真っ黒な水の壁が町から色を奪っていく様子に気持ちが一変してしまいました。分刻みで被害が大きくなっていき、当時菅野さんが勤務されていた市役所4階までも津波に飲み込まれたという、息をのむモノトーンの光景に会場は凍り付いてしまったようでした。

「想像を超える大きな被害を受け、その後も困難はずっと続きました。社協においても多くの幹部職員が犠牲になったうえ事務所も被災し資料等が流失しました。それでも3月15日には職員が集合して17日にはボランティアセンター

を設置、使えなくなった事務所に代わり、民家の一室を借りて会議を開き、被災を免れた公共施設の一角で事務所機能を始動させていきました」と混乱の中での福祉避難所・応急仮設住宅の設置等、初期の活動からその時々に応じて細やかに取り組んだ歩みを振り返られました。

「徐々に震災前の事業を再開しているものの、新たな課題が出てきています。山を削ったり土地をかさ上げして高台を造成し、公共施設や災害復興住宅を作り住民の集団移転を促しています。また、土地区画整理事業で住宅地を造成しています。しかし、

『できました、移転してきました』というようには進んでいないのが現状です」「新しいコミュニティでの一からの新しいお付き合いは容易ではありません。一方、仮設住宅で新生活に移行していく世帯が増えるのに伴って『残され感』を感じる住民の心のケアも深刻です。そこで自治会や老人会、

民児協との連携で見守りや相談、市民交流プラザの設置や『お茶っこのみ』というサロン活動等が続けてきています」。125mの防潮堤建設、市街地の復興、高田松原の再生、とハード面は着々と進んでいます。しかし「『人の元どおり』は大変です」。人とのつながりに心を砕いた5年8か月、そしてこれからも、社協の活動はまさに『人の元どおり』そのものです。今のところ大きな災害に遭わない



講演風景と講演された菅野氏

南足柄にあって、「津波、他人ごとではないと思っしてほしい。その10mの壁が押し寄せてくる恐怖を」「災害時のシミュレーションは絶対に必要」「普段から理解し考え、おくことが大切」との菅野さんの言葉を胸に生活していきます。今後『陸前高田』と耳にしたら、被災地に想いを馳せ、応援の気持ちと一緒に防災・減災意識を新たにしていきたいと思います。

## 県社会福祉大会で受賞

第65回県社会福祉大会が10月5日に横浜市の紅葉ヶ丘にある県立青少年センターで開催されました。第1部は元NHKディレクターの北折一氏による「ガッテン流！ 楽して得するオモシロ健康術」と題する講演がありました。

第2部は、長年にわたり地域福祉活動に尽力された方や共同募金に協力された方たちに表彰状や感謝状が県知事や県社協会長、県共同募金会会長からそれぞれ贈呈されました。

▼県共同募金会会長感謝（敬称略）

平井久元（和田河原）

▼県社協会長表彰（敬称略）

松本扶美子（ふくざわ保育園）

及川浩子（社協）

相楽陽代（社協）

## 地域福祉会連絡会研修会

11月8日(木)りんどう会館大会議室で、今年度の地域福祉会連絡会研修会が、地域福祉会役員と会員55名の参加により開催されました。

最初に、グループワークを円滑に進めるために、自己紹介からスタート。秋と言えば何を連想するかをメンバーに伝え、そこで出た言葉をグループ名にする共同作業を行いました。柿やざる菊などユニークなグループ名が全体に伝えられると次第に和やかな雰囲気になりました。

グループワークの第1のテーマは「日常生活の中での将来的な不安や困りごととは何か」です。急速に進む少子高齢化、認知症など、私たちを取り巻く環境が大きく変化している中で、将来的に不安なこと、困ることは何か、一人ひとりがカードに書き出し、グループで共有していきます。困りごとや不安には「ゴミ出し、買い物、移動手段、健康への不安、認知症、孤立、近所づきあいなど」様々な内容が出されました。

次に「困りごとや不安なことに對して私たちができること」を、

## いつまでも住み慣れた地域で安心して生活していくために私たちにできること



また、一人ひとりがカードに書き出し、グループで共有しました。「週1回ならゴミ出しができる、近くの病院なら付き添える、話し相手ならできる、助けてほしいと頼みやすい環境作り、地域のサロンで健康づくり」などたくさんアイディアと、「ちょっとした手助けが大きな力になる、無理なくできることから考えると意外とできることがある」など多くの気づきがありました。



活発な議論が交わされたグループワーク

最後に、各グループからまとめの発表があり全体で共有しました。参加者からは「どの地域も課題は同じ。皆で共にやろうにつぎと思う」「他の地域の会員と情報交換ができ、参考になることが多く、視野が広がった」などの感想がありました。将来への不安を安心に変えていくために、私たち一人一人ができること、そして地域として支え合えることは何かを考えるきっかけとなる研修会となりました。

### 経験豊かなシルバーパワー いろいろお手伝い致します

- ☆植木の剪定や除草
- ☆お掃除や襖張り
- ☆親切なパソコン教室
- ☆デジタルカメラ撮影講座
- ☆こどもの一時預かり

お気軽にお問い合わせください



南足柄市シルバー人材センター

〒250-0113 南足柄市岩原1016-1 おかもと福祉館内  
TEL.0465-72-0789 FAX.0465-73-4055

### 当事務所の特色 3つの柱

- ◇財産の管理、税金の相談
- ◇「成年後見」等のお手伝い
- ◇円満な相続及び相続対策のお手伝い

### 税理士法人 押田会計事務所

小田原事務所 〒250-0011 小田原市栄町1-11-16Mビル5F  
TEL.0465-20-1170

横浜事務所 〒220-0005 横浜西区南幸2-19-4折目ビル4F  
TEL.045-313-1546

<http://www.oshidakaikei-tms.or.jp>



医療法人

### おぎの整形外科・歯科

#### 診療時間

整形外科 AM9:00~12:00  
PM3:00~6:00  
歯科 AM9:00~12:00  
PM3:00~6:00  
土曜日のみ  
PM2:00~5:00

休診日 水・日曜・祝日



整形外科 TEL.0465-73-1100  
歯科 TEL.0465-73-2288

〒250-0105 神奈川県南足柄市関本750-1  
<http://www.ogino.or.jp>



## 「活用ください！」 社協ふれあい出前講座

社協では「福祉や介護予防、防災など」いざという時に役に立つ知識や情報を提供するふれあい出前講座を実施しています。身近な地域の公民館で開催ができ、バラエティに富んだ講座メニューから学んでいただくことができます。特に大切にしているのは、住民の皆さんとのふれあいと、楽しく学んでいただける雰囲気作りです。

最近依頼の多い認知症の講座では、基礎知識や予防法、認知症の方への接し方などを分かりやすく学んでいただく内容となっています。また、防災講話では、防災のプロを講師として、すぐに役立つ防災の知識を、実演や体験から学んでいただくなど、充実しています。ぜひお気軽にご活用ください。



心肺蘇生法を体験

## 親子でお菓子・福祉教室

（車いすのパティシエ事業）

親子でお菓子・福祉教室が10月22日（土）女性センターで行われました。

この日を待ち望んだ小1から小4の子供達、9家族19名が参加しました。講師は市身体障害者福祉協会副会長の加藤弘美さんと4名の会員で、加藤さんのレシピを基に親子で3種類のクッキー作りを楽しみました。

午前は生地づくり。カレー作りボランティアの武井亮子さんによる心尽くしの昼食に、皆の顔もほころびます。食後は生地を切り、焼き上げる。香ばしいクッキーと紅茶で至福のティータイム。随所にボランティアやスタッフの準備と配慮が伺えます。

講師の加藤さんは、若くして病に倒れ、車いす生活となりました。彼女を支えたのは多くの友達とボランティアでした。「その時ボランティア活動というものを初めて知りました」との言葉は、福祉は他人事ではないと教えています。「夢は叶えるためにある」と、自宅で暮らしていくために工夫を重ね、さらに電動車いすにも挑戦し



クッキーづくりに挑戦

ています。話の最後に「困っている人を見かけたら、『何かお手伝いしましょうか』と声をかけてください」とのお願いがありました。来し方を話す一言ひとことが心に染み入り、聞いている親子の眼差しも真剣そのものでした。

参加者の感想には、「クッキー作りが楽しかった」と親子の共同作業の喜びの声と、講師の体験に深い感動と敬愛の気持ちが生まれ、「とても良い企画でした。誰もが、できることをして自然に助け合える社会になるといいな」の言葉に、福祉の心が確実に芽生えていることを感じます。

この教室がその想いを行動に移す新たな一歩になればよいと思う事業でした。

出版印刷製本

あなたの原稿を形にします

有限会社教文社

南足柄市広町935  
TEL 0465-74-1404  
FAX 0465-72-1040

福祉用具・販売・レンタル・住宅改修

メディカルサービス

おがもと

南足柄市福泉24-9  
TEL 73-3995

営業日 月～土曜日  
営業時間 午前9時～午後6時（月～金曜日）  
午前9時～午後5時（土曜日）  
休業日 日曜・祝祭日

不用品の整理処分

浄化槽から下水道への切替工事

蜂の巣・害虫駆除

困ったら何でもご相談ください!!  
（引き取り費用がかかります）

私達は豊かなあしがら地域の自然と環境を守ります。

あしがら環境保全(株)

本社営業所：南足柄市狩野486  
☎74-0056(代)

営業時間 8:10～17:00（土曜午後・日曜・祝日は休み）

## ●●●社協職員を募集●●●

社会福祉協議会では、  
幅広い経験を有する職員を募集いたします。

### 【募集及び申込書等配布期間】

平成29年1月5日(木)～2月6日(月)まで  
(ただし、土・日、祝祭日を除く、午前9時から午後5時まで)  
試験日 1次試験 平成29年2月19日(日)

2次試験(1次試験合格者)平成29年3月4日(土)

詳しくは、南足柄市社会福祉協議会ホームページでご確認ください。  
南足柄市社会福祉協議会 実方、加藤 ☎0465 (73) 1575

まごころ  
ありがとう

寄付の窓口

28.10.1～28.11.30

### 【寄付金】(敬称略)

|                                     |         |
|-------------------------------------|---------|
| 飯沢自治会 秋まつりふれあい募金                    | 5,847円  |
| 台河原自治会                              | 6,600円  |
| 南足柄市管工事業協同組合                        | 5,997円  |
| 竹松福祉会                               | 10,000円 |
| 関本地域福祉会                             | 5,000円  |
| 悠々会(チャリティパークゴルフ大会)                  | 3,900円  |
| 南足柄市社交ダンス連合会                        | 10,354円 |
| 富士ゼロックス(株)竹松事業所                     | 5,991円  |
| 壺下福祉会                               | 15,754円 |
| マーガレット(代表山敏子)・<br>デコパージュ樗の会(代表山崎笑子) | 2,000円  |
| JAかながわ西湘岡本・岩原支店ゴルフ実行委員会             | 36,000円 |

### 【寄付品】(敬称略)

マックスバリュ 開成駅前店……………車いす1台

### 理事会報告

◆12月21日

### 議題

- △評議員の同意について
- △定款の改正について
- △評議員選任・解任委員会運営に関する規程の制定について
- △評議員選任・解任委員会委員の選任について
- △評議員選任・解任委員会の開催について
- △役員及び評議員選任規程の一部を改正する規程について
- △評議員選任候補者の推薦について

### 【社協賛助会員様の社名が変わりました】

(株)ベンカン機工 様  
(旧)日鉄住金機工(株) 様

### 【新社協賛助会員様ご紹介】

きんとき御食事処 様

### 障害児一時預かり事業

## 春休みしゃぼんだまの会



と き 平成29年3月27日(月) 10時～15時まで  
ところ りんどう会館 ほか

対 象 南足柄市に居住する知的障害・身体障害児で、療育手帳及び県の判定で中度以上の障害があると認められた児童及び本事業の参加を必要とする児童、概ね15名(小学生～中学生) ※なお、医療行為を要する児童については、ご相談下さい。

参加費 保険料・材料・おやつ代として600円

申込等 2月20日(月)から、直接事務局へ

申込先 ボランティアセンター ☎72-2299

### あんしんセンター講演会

## 「車社会と高齢者 ～あなたが加害者になるとき～」



生活に必要な車…近年、高齢者による事故が増えていきます。あなたの身を守る、車との付き合い方とは？弁護士がお答えします！

と き 平成29年2月4日(土)  
14時～16時まで

ところ りんどう会館大会議室

講 師 内嶋順一弁護士(みなと横浜法律事務所)

申込等 1月4日(水)から電話又は直接

申込先 社協あんしんセンター ☎72-2109

### 編集後記

明けましておめでとうございます。  
ごさいます。

さて、昨年は南米初のオリピック、パラリンピックが、ブラジルで開催された年でありました。

過去にはオリピックが終わって、実はこの後、同じ会場で、パラリンピックという障害者の大会が開催される事を、ニュース等で申し訳程度に紹介していたのを思い出しました。

そこで、オリピック、パラリンピックと、両者が同じ土俵に上がったのはいつ頃だったか調べてみたところ、2004年のアテネ大会から共同の開催組織委員会が運営することとなったとありました。

前回の東京大会の1964年頃はもちろん、障害者に対して福祉という施策があまりなかった時代です。

その後、様々な福祉が生まれ、今ではパラリンピックを観戦して私たちが元気をいただく《福祉》に様変わりしたように思います。

2020年の東京大会を前にNHKでは、日本が初めてオリピックに参加した1912年のストックホルム大会から、1964年の東京大会までの記録を、大河ドラマとして制作するそうで大変楽しみになりました。

(広報委員 磯崎 昇治)